

本件は、重工業研究会(重工クラブ)、化学工業記者会、宇部記者クラブで発表しています。

2019年4月24日
宇部興産株式会社

山口宇部パワー(株) 西沖の山発電所(仮称) 新設計画 計画変更の検討および環境影響評価手続の休止について

宇部興産株式会社(代表取締役社長:泉原雅人、以下「宇部興産」)、電源開発株式会社(代表取締役社長 社長執行役員:渡部肇史、以下「Jパワー」)および大阪瓦斯株式会社(代表取締役社長:本荘武宏、以下「大阪ガス」)が出資する山口宇部パワー株式会社(本社:山口県宇部市、代表取締役社長:森本成、以下「YUP」)は、山口県宇部市西沖の山(宇部興産所有地)において、これまで進めてきた西沖の山発電所(仮称)新設計画(以下「本計画」)に関し、今後、計画変更を検討し、環境影響評価法に基づく環境影響評価手続を休止することといたしました。

YUPは、2015年3月の会社設立以来、本計画に関し、発電事業の検討および準備を進めるとともに、環境影響評価法に基づき、環境影響評価手続を実施してまいりました。2018年9月には、環境影響評価準備書を国に届出、関係地方自治体に送付し、審査を受けてまいりました。

しかしながら、このたび、大阪ガスが、YUPからの撤退を決定したことから、YUPは、今後、本計画の変更を検討することとしました。併せて、現行の環境影響評価準備書に関しては、国に、取下げを願い出ることとしました。

宇部興産およびJパワーは、YUPを通じ、最新鋭・最高効率の石炭火力発電所建設の検討を継続することを合意しており、今後、60万kW級超々臨界圧発電設備の単機開発へのスケールダウン、および酸素吹石炭ガス化複合発電による商用機開発への計画変更を検討し、最適な発電所計画を策定することとしております。

宇部興産は、YUPを通じ、これまで関係各位のご理解、ご支援を得て本計画を推進して参りました。関係各位に対し、改めて感謝の意を表しますとともに、今後の計画変更に関しましても、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

以 上

(本計画の概要)

- ・発電端出力: 120万kW(60万kW×2基)
- ・発電方式: 超々臨界圧石炭火力発電(USC)
- ・所在地: 山口県宇部市西沖の山地区
- ・運転開始: 1号機2026年4月、2号機2026年10月

(YUPの概要)

- ・会社名: 山口宇部パワー株式会社
- ・本社所在地: 山口県宇部市
- ・設立日: 2015年3月
- ・代表者: 代表取締役社長 森本成(Jパワー開発計画部長)
- ・出資比率: Jパワー45%、大阪ガス45%、宇部興産10%
- ・事業内容: 電気等供給事業

〈問い合わせ先〉

宇部興産(株)CSR・総務部 総務・広報G
03-5419-6110